

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1095

介護保険料徴収事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	2	介護保険制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	介護保険事業特別会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	一般管理費		
	大事業	一般管理事業		
中事業	介護保険料徴収事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	介護保険課	濱野 吉淳 435-1190
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	介護保険料収納・還付を行い、未納者に対しては文書催告の他、電話・訪問催告を行う等して、収納率向上を図るため。		介護保険料の収納・還付を適正に行う。また、未納者に対して徴収を強化し、収納率向上を目指すための事業。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	督促、催告書の発送。電話催告。徴収員による臨戸徴収。	督促、催告書の発送。電話催告。徴収員による臨戸徴収。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、徴収員による臨戸徴収等。	督促状・催告書の発送、電話催告、臨戸徴収等。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,860	14,025	16,597	13,625	16,673	15,270	16,590	0	16,590	0
伸び率(%)	6.9%	27.6%	11.7%	△2.9%	0.5%	12.1%	△0.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	29,011	28,216	28,395	30,628	30,690	29,331	28,292	0	28,292
	正規職員以外	9,592	5,940	7,037	7,037	7,217	7,194	8,293	0	8,293
	小計	38,603	34,156	35,432	37,665	37,907	36,525	36,585	0	36,585
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	490	614	490	0	490	0
一般財源(税等)	14,860	14,025	16,597	13,625	16,183	14,656	16,100	0	16,100	0
所要人数(人)	正規職員	3.65	3.55	3.56	3.84	3.84	3.67	3.54	0.00	3.54
	正規職員以外	4.36	2.70	3.10	3.10	3.04	3.03	3.81	0.00	3.81
主な予算内訳	通信運搬費 13,429千円 印刷製本費 2,526千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
現年分保険料収納率	%	目標値	98.26	98.26	98.4	98.5	98.5
		実績値	98.39	98.49	98.81		
		達成度(%)	100.1%	100.2%	100.4%	%	%
		滞納分保険料収納率	目標値	20.15	20.2	14.6	18.0
滞納分保険料収納率	%	実績値	14.49	13.13	17.74		
		達成度(%)	71.9%	65%	121.5%	%	%
		目標値	98.26	98.26	98.4	98.5	98.5
		実績値	98.39	98.49	98.81		
達成度(%)	%	達成度(%)	100.1%	100.2%	100.4%	%	%
		目標値	20.15	20.2	14.6	18.0	18.0
		実績値	14.49	13.13	17.74		
		達成度(%)	71.9%	65%	121.5%	%	%

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	現年度分については、目標値をおおむね達成している。滞納分については、債権回収対策課への移管等、徴収体制の強化を図っている。
見直し・改善内容	特になし。